

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	教科教育法（音楽）						授業形態		講義	
科目コード	750095	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	早川 純子								ICT活 用	○
授業概要	この授業では、初等教育における音楽科教育の目標や指導内容、教材、指導計画、評価方法について理解し、音楽科の授業を構成して実践するために必要な資質・能力・技能を身につけることを目的とする。具体的には、学習指導要領や音楽教育史の概観を行い、歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の各活動に関する指導方法を習得する。 また、授業の一部にTBL（チーム基盤型学習）による協働的な学習活動を取り入れ、意見交換や課題解決に取り組みながら、多角的な視点で指導内容への理解を深めるとともに、実践的な指導力の育成を図る。さらに、初等音楽の基本的な知識や技術を整理し、指導実践の基盤を確立する。									
関連する科目	事前に「音楽」を受講し、楽典やソルフェージュの学習によって、楽譜の読み方を把握し視唱・視奏などができることが望ましい。また、「ピアノ実技Ⅰ（基礎）」の受講を通して、ピアノ実技の基礎的な技能を身につけていることが望ましい。									
授業の進め方 と方法	毎回の授業では、理論と実技の両方を取り入れる。 授業は前半で発達段階に合わせた指導理論と方法について学び、後半では歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞に関する指導法を実践的に学習する。 なお、授業の一部にTBL（チーム基盤型学習）を取り入れ、協働的な学習活動を通して理解の深化を図る。									
授業計画 【第1回】	第1回：音楽科教育の目的と意義 音楽教育と音楽科教育の違いを理解し、音楽科教育の目的を学ぶ。									
授業計画 【第2回】	第2回：歌唱指導 歌唱に必要な基本的技術の確認、歌唱レパートリーの拡充、アレンジや伴奏の活用法を学ぶ。									
授業計画 【第3回】	第3回：〔共通教材〕 音楽の要素や仕組み、音楽用語や記号などを関連づけて理解する。									
授業計画 【第4回】	第4回：コードと簡易伴奏法 コードの基本的な形や進行法を学び、簡単な伴奏法を練習する。									
授業計画 【第5回】	第5回：TBL①（歌唱活動） 歌唱活動の応用に関する課題に、協働的に取り組む。									
授業計画 【第6回】	第6回：音楽づくり指導 簡単なリズムや和音のパターンにより、リズムやメロディーなどの音楽要素を用いた即興演奏の方法を学ぶ。									
授業計画 【第7回】	第7回：ICTを活用した活動方法 簡単な操作で音符を配置できるオンラインツールを用いてオリジナルの楽曲を作曲したり、オンラインツールにより音程を正確に取る歌唱練習方法を学ぶ。									
授業計画 【第8回】	第8回：TBL②（音楽づくりの活動） 音楽づくりの授業設計に関する課題に、協働的に取り組む。									
授業計画 【第9回】	第9回：器楽指導 楽器の持ち方や奏法などの基礎を学び、アンサンブル演奏を通してチームワークやコミュニケーションの重要性を学ぶ。									
授業計画 【第10回】	第10回：インクルーシブ音楽活動 障がいを持つ児童や異なる文化背景を持つ児童を含め、多様な児童が平等に参加できる音楽活動の方法を学ぶ。									

授業計画 【第11回】	第11回：TBL③（特別支援の音楽活動） 特別支援における音楽活動の応用に関する課題に、協働的に取り組む。
授業計画 【第12回】	第12回：指導案の構成 指導案の概要や目的、また指導案の構成要素である目標・目的、手順・方法、評価の役割や重要性を理解する。
授業計画 【第13回】	第13回：TBL④（授業案作成） 音楽授業案の作成に関する課題に、協働的に取り組む。
授業計画 【第14回】	第14回：鑑賞指導 児童が音楽に対する興味・関心を高め、より深く理解する力や表現する力を養うための指導法を学ぶ。
授業計画 【第15回】	第15回：TBL⑤（鑑賞活動） 鑑賞指導に関する課題に、協働的に取り組む。
授業の到達目標	1. 小学校学習指導要領、および音楽教科内容を正しく理解する。 2. 表現（歌唱・器楽・音楽づくり）および鑑賞の学習内容に必要な基礎知識と実技力を身につける。 3. 学習指導案の作成とTBL（チーム基盤型学習）を通し、実践力を養う。 4. 自らの適性と個性を把握し、独自の感性と実技力を生かしたオリジナルで魅力的な授業づくりを目指す。 * 指導案の提出、その他課題の提出を課す。
学位授与の方針 （DP）との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)
授業時間外学習【予習】	初等音楽科教育法の活動内容や指導案作成で割り当てられた教材に関して図書や雑誌などを調べたり、授業で示された課題に取り組むこと。（45分程度）
授業時間外学習【復習】	授業で課した課題に取り組むほか、参考文献を調べて自発的に課題を見つけたり、授業内容の理解を深めること。（45分程度）
課題に対する フィードバック	テストや課題については、評価と解説を行います。
評価方法・基準	受講態度：45%、指導案：15%、TBL：15%、課題：5%、筆記試験：20%
テキスト	初等科音楽教育研究会『最新 初等科音楽教育法[改訂版] 小学校教員養成課程用』（音楽之友社）
参考書	『小学校学習指導要領解説 音楽編』（文部科学省）
備考	